

令和3年度市民後見人養成講座（基礎研修）カリキュラム等

（配信期間：令和4年1月17日～2月10日）

令和3年11月末現在

| 基礎Ⅰ（動画研修） | | | | | | |
|----------------------|----------|------------------------|-----------|----------------|-------------------------|---|
| 対象 | 形式 | プログラム | (分) 目安 | 講師（敬称略） | | 主な内容 |
| 市民後見人を目指す方・活動に関心がある方 | オンデマンド配信 | 開講あいさつ・講座の説明 | 5 | 事務局 | | オリエンテーション |
| | | 第1講 権利擁護・後見人の倫理 | 45 | 社会福祉士 | 社会福祉士 田中 晃 | 権利擁護とは（考え方）、成年後見人に必要な倫理観について等 |
| | | 第2講 地域福祉論 | 45 | 県社協職員 | 地域福祉部 | 地域福祉とは、地域共生社会について、地域福祉の担い手とその役割等 |
| | | 第3講 成年後見制度概論 | 90 | 最高裁動画 | | ※最高裁作成の動画を視聴。 |
| | | 第4講 成年後見制度総論・各論 | 90 | 弁護士 | 神奈川県弁護士会 弁護士 内嶋 順一 | 成年後見制度とは、任意後見制度の利用（触れる程度）、法定後見制度の利用（詳しく解説）、成年後見人の職務、これからの成年後見制度のあり方（特に「本人の意思決定支援ツールとしての成年後見制度」という視点での解説 |
| | | 第5講 障害の理解（精神障害） | 90 | 精神保健福祉士 | 湘南精神保健福祉事務所 所長 長見 英知 | 精神障害について、障害の捉え方について、支援の際のポイント等 |
| | | 第6講 障害の理解（認知症） | 90 | 医師 | 横浜相原病院 顧問 吉田 勝明 | 認知症について、認知症の方への支援のポイント等 |
| | | 第7講 障害の理解（知的障害） | 90 | 社会福祉士 | （福）唐池学園貴志園 園長 富岡 貴生 | 知的障害について、知的障害の方への意思決定を踏まえた支援のポイント等 |
| | | 第8講 民法（家族法・財産法） | 120 | 弁護士 | 神奈川県弁護士会 弁護士 山川 英夫 | 成年後見制度に深いかわりがある民法の中でも、家族法・財産法についての解説。 |
| | | 第9講 消費者保護 | 60 | 県消費生活課 | 消費生活専門相談員 五十嵐 朋之 | 後見人が活用できる社会資源の一つとしての消費生活センターについて、最近特に多い事例の紹介、市民・支援者へのメッセージ等 |
| | | 第10講 市町村取り組みの現状 | 60 | 各市・市社協職員 | | 当該市の市長申立てについて、日常生活自立支援について等 |
| | | 第11講 市民後見概論Ⅰ | 45 | 県社協 | | 市民後見人活動、成年後見制度のポイントについて等 |
| | | 第12講 対人援助の基礎（意思決定支援） | 90 | 学識者 | 和泉短期大学 教授 鈴木 敏彦 | 意思決定支援の考え方、対人援助者の心構えについて等 |
| | | 第13講 基礎Ⅱ 受講説明 | 20 | 県社協 | | 第14講、15講の受講申込み案内等 |
| 基礎Ⅱ（集合研修） | | | | | | |
| 市民後見人を目指す方 | 集合形式 | 第14講 市民後見概論Ⅱ：市民後見人実践報告 | 180 | 市社協職員 市民後見人 | | 実際に市民後見人として活動している方からの報告 |
| | | 第15講 市民後見概論Ⅲ：演習・振り返り | | 社会福祉士 | 社会福祉士 田中 晃 | 模擬事例をもとに、支援の考え方の整理等を行い、後見人として視点を学ぶ |
| | | 試験（選択試験／作文） | 80 | 事務局 | | |
| | | 閉講式・実践研修説明 | 20 | 県社協／各市 | | 実践研修に向けての案内。 |

上記は令和3年11月末現在の予定です。また、講義時間は目安となります。